

令和6年10月29日

県新人出場校剣道部顧問・引率者 様

愛媛県中体連剣道競技部
専門部長 小笠原 直輝

第37回愛媛県中学校新人体育大会並びに
第18回新人アスリート強化育成剣道競技における諸連絡

1 日時・場所・日程・試合順等

- (1) 日時 11月8日(金) 16:00~18:00
11月9日(土) 8:00~16:30
11月10日(日) 8:00~15:30

(2) 場所 地域健康スポーツパーク アリーナ土居

- (3) 日程 ○ 11月8日(金) 事前稽古
・開場 16:00~
・事前練習 16:00~18:00

※ 前日稽古終了後、剣道具等は会場に置いて帰ってもかまわない。

ただし、置き場所は2階観客席とし、席取り等を目的とした置き方は認めない。各校の責任の下、整理整頓をして最小限のスペースにまとめること。なお、紛失や破損等の責任は、大会本部は負わない。

- 11月9日(土) 個人戦
・開場 8:00~
※ 出場校監督・引率者・出場選手・応援生徒のみ入場可とする。
・応援者入場 8:10
※ 保護者、観戦者等の入場
・竹刀検量 8:00~ 9:20
※ 個人戦出場選手のみ
・アップ 8:00~10:00
※ メインアリーナのみ使用可、サブアリーナは竹刀検量・審判監督会議のため使用不可
・審判監督会議 9:30~ 9:50
・開始式 10:10~10:20
・個人戦 10:30~15:00
※ 個人戦競技中に個人戦出場選手のみサブアリーナでアップを行っても構わない。なお、使用は15時までとする。
・表彰式 15:10~15:30
・事前練習、竹刀検量 15:30~16:30
※ 団体戦出場選手のみ

※ 団体戦出場校の選手は剣道具等を会場に置いて帰ってもかまわない。
ただし、置き場所は2階観客席とし、席取り等を目的とした置き方は認めない。各校の責任の下、整理整頓をして最小限のスペースにまとめること。なお、紛失や破損等の責任は、大会本部は負わない。

- 11月10日(日) 団体戦
 - ・開 場 8:00～
 - ※ 出場校監督・引率者・出場選手・応援生徒のみ入場可とする。
 - ・応援者入場 8:10
 - ※ 保護者、観戦者等の入場
 - ・竹刀検量 8:00～ 9:10
 - ※ 団体戦出場選手のみ
 - ・ア ッ プ 8:00～ 9:30
 - ※ メインアリーナのみ使用可、サブアリーナは竹刀検量・審判監督会議のため使用不可
 - ・審判監督会議 9:20～ 9:35
 - ・開 始 式 9:40～ 9:50
 - ・団 体 戦 10:00～15:00
 - ※ 団体戦競技中に団体戦出場選手のみサブアリーナでアップを行っても構わない。なお、12時まで使用可能とする。
 - ・表 彰 式 15:10～15:30

※ 男子 1・2試合場 女子 3・4試合場

※ 閉会式は実施せず、表彰式のみ実施する。

2 競技規定について

- (1) (公財)全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則・細則」及び令和6年度(公財)日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項によって行う。更に、以下を含めた試合・審判の方法とする。
 - ア (公財)全日本剣道連盟「剣道試合・審判・運営要領の手引き」
(令和6年度9月1日改訂)
 - イ (公財)全日本剣道連盟「感染拡大予防ガイドライン」
(令和6年9月1日)
 - ウ 『令和6年度(公財)日本中学校体育連盟剣道競技部 剣道審判員 共通認識事項』
(令和6年4月1日)
- (2) 試合は、3分3本勝負とする。時間内に勝敗が決しない場合は、団体戦は引き分け、個人戦は勝敗が決しない場合は2分ごとの延長戦を、勝敗の決するまで行う。
 - ア 団体戦(予選リーグ)
 - (ア) 3チームまたは4チームを1組とし、予選リーグ戦を行う。各組の上位2チームによるトーナメント戦方式で順位を決定する。
 - (イ) 得点は勝ちチームが1点、引き分けは0.5点、負けは0点とし、得点、勝者数、総本数の順で予選リーグの順を決める。
 - (ウ) リーグ戦1位が3チームまたは4チームの場合は、登録選手7名の中から任意の代表者による代表者戦を3分3本勝負、延長戦を2分区切りで勝敗が決するまで行う。なお、試合順はリーグ戦と同じとし、試合毎に代表者の変更を認める。リーグ戦2位が3チームの場合も同様とする。
 - (エ) リーグ戦1位が2チームの場合は、登録選手7名の中から任意の代表者による代表者戦を3分1本勝負、延長戦を2分区切りで勝敗が決するまで行う。リーグ戦2位が2チームの場合も同様とする。

イ 団体戦（決勝トーナメント）

（ア）勝者数、本数ともに同数の場合は、3分間1本勝負の代表者戦を行う。時間内に勝敗が決しない場合は、2分ごとの延長戦を、勝敗の決するまで行う。

（3）延長戦における休息等は以下の通りとする。

試合時間3分⇒延長2分⇒延長2分⇒【小休止（深呼吸をする程度）】開始線付近で10秒程度

⇒延長2分⇒延長2分⇒【休憩（面を外して給水）（5分）】

⇒延長2分⇒延長2分⇒【小休止（深呼吸をする程度）】開始線付近で10秒程度

⇒延長2分⇒延長2分⇒【休憩（面を外して給水）（5分）】⇒試合の続く限り繰り返す

（4）選手は試合および練習においては、面マスクもしくはマウスシールドの使用を義務付ける。

（5）鏢競り合い解消に至る時間は「一呼吸（目安としておよそ3秒）」とする。また、解消する場合は、双方がバラバラで下がらない。徐々に下がるのではなく、正しい鏢競り合いから鏢と鏢を競り合う（押し合う）力を利用して一気に下がる。

3 日本中体連剣道競技部重点的な指導の取組の徹底

（1）「蹲踞」「始め」の場合：竹刀を抜きながら蹲踞する。

「終わり」の場合：納刀した後、右手を右太股においてから立ち上がる。

（2）相互の礼をする前や後、選手交替時における余計な所作はしない。（小手合わせ、胴つき、発声など）このような所作が見られた場合には、監督に指導を行う。

4 剣道着や剣道具について

（1）剣道着の袖は肘が隠れる長さとする。肘が見えるものは使用しない。

（2）面紐の長さは40センチメートル以下とする。また、面紐を結ぶ位置が高過ぎないようにする。

5 竹刀検量について

（1）竹刀検量所はサブアリーナ内に設置する。

（2）検量は男女別で行い、提出する竹刀は、出場選手1名につき3本とする。

（3）竹刀の柄革に団体名と氏名を書き、所有者が竹刀検量所に提出する。

（4）大会当日の竹刀検量に合格しなかった破損竹刀や不正竹刀は、大会本部にて終日預かる。

大会終了後、大会本部にて検量に合格しなかった破損・不正竹刀は本部で終日預かる。その竹刀は試合終了後に本部にて返却を行う。

（5）竹刀検量時間外の再検量は、大会本部で行う。

6 審判監督会議について

1日目（個人戦）については、9時30分からサブアリーナにて行う。2日目（団体戦）については、9時20分からサブアリーナにて行う。

7 大会時の監督・引率・外部指導者の服装・名札について

（1）服装は、ブレザー、白色（無地）ワイシャツ、グレー（無地）ズボン、エンジのネクタイ、紺色（無地）の靴下とする。

（2）試合場への時計の持ち込みは禁止とする。（腕時計も身につけない）

（3）監督・外部指導者は、監督証、外部指導者証を用意し、着用すること

8 外部指導者について

- (1) 選手への指導は、メインアリーナの外で行う。
- (2) 試合場への入場および監督席への着座は不可とする。

9 メインアリーナの立ち入りについて

- (1) メインアリーナに入場できるのは、監督・引率者・部活動指導員・外部指導者・登録選手のみとする。引率者・外部指導者がメインアリーナで観戦する場合は、パーテーションの外側で観戦をすること。

10 応援・撮影について

- (1) 保護者が応援したり、ビデオ撮影・写真撮影をしたりする場合は、2階観覧席から行うこととする。その際、フラッシュ撮影、標準合わせのランプの使用は禁止とする。
- (2) 監督・引率者・外部指導者・登録選手は、パーテーションの外側でのビデオ撮影・写真撮影を可とする。
- (3) 撮影した動画、写真等を無断で SNS 等にアップロードすることは禁止とする。

11 オーダー表について

オーダーは下記のサイズで作成すること

	15cm	15cm	15cm	15cm	15cm	15cm
20cm	学 校 名	先 鋒	次 鋒	中 堅	副 将	大 将

12 荷物（剣道具）や靴置き場

- (1) 荷物は各校で整理整頓すること。
- (2) 剣道具を含む私物には、必ず記名をすること。
- (3) 靴は袋に入れて各自で管理をすること。出入口や靴箱に置かないこと。

13 駐車場について

- (1) 監督・引率・選手・保護者等の駐車については、アリーナ土居付近の駐車場とすること。
(別紙参照)
- (2) 役員・審判員はアリーナ土居内の駐車場を利用しても構わない。

14 その他

- (1) 靴袋・傘袋等（雨天時）を持参すること。
- (2) 喫煙は、所定の場所で行うこと

※ 以上、これらの件について何か御不明な点がございましたら、松山東雲中学校 小笠原 (089-941-4136) まで御連絡ください。よろしく申し上げます。